

科学技術論

(選択)

Science and Technology Studies

田中 一郎・非常勤講師 / 非常勤講師

【授業目的】 受講者には、科学技術論の概要と現代社会におけるその機能について、必要な知識を学ぶことが期待される。

【授業概要】 科学技術論は、科学技術に関する研究活動と成果について、社会科学や人文学の多様な領域の知識を用いて行う研究である。科学技術の社会的重要性が明らかになった 1930 年代に新たな学問分野として登場し、とくに 1970 年代以降、国の政策、企業経営、市民生活など多くの分野に影響を与えている。この講義の前半では、技術革新が社会に影響を及ぼした事例と、逆に社会の変化が技術革新を促した事例を取り上げ、技術と社会との相互影響関係について考察する。後半では、産業革命以降の欧米と日本の産業構造の特徴を、それぞれの近代化過程の違いから考察する。

【授業形式】 講義

【到達目標】

1. 科学・技術の進歩と社会の変化との相互影響関係の理解
2. 学生たち自身の研究の社会的意味の理解

【授業計画】

1. 序論
2. 農業技術の革新とヨーロッパ社会
3. 荘園制と三圃式農法—農業技術の革新とヨーロッパ社会 2
4. 馬力の発見—農業技術の革新とヨーロッパ社会 3
5. 機械時計の進歩と中世社会の崩壊
6. 神聖な時間と世俗的な時間—機械時計の進歩と中世社会の崩壊 2
7. 機械時計と資本主義社会の成立—機械時計の進歩と中世社会の崩壊 3
8. 動力機関の発展と工業化社会
9. 産業革命と蒸気機関—動力機関の発展と工業社会 2
10. 工業化社会の成立
11. 日本における伝統産業から近代産業への発展
12. 地場産業と中小企業
13. 高度成長期の製造業
14. 失われた 10 年と産業の空洞化
15. 科学技術と社会の未来

【教科書】 資料を配付します。

【参考書】 講義中に紹介します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216582>

【対象学生】 大学院博士後期課程学生

【連絡先】

⇒ 田中 . (オフィスアワー: tanaka@kenroku.kanazawa-u.ac.jp)

⇒ 工学部学務係 (オフィスアワー: 月曜から金曜:8時30分~ 17時15分)